

迫る介護と寄る年波！



さて、どう挑む？



～在宅介護の入門～

元気だった妻が風呂場で転んでから、目が離せなくなり心配

『老いても、おまえたちの世話にはならん！』と強気だった父が、脳出血で倒れ、寝たきり状態になった

50歳代に差し掛かると、これまで他人事と思っていた介護が急に目前に迫り、かつ、自分自身の「寄る年波」にも、不安を感じ始めている方も多いのではないのでしょうか。

この展示では、介護保険のしくみや千代田区の在宅福祉サービスなど、介護を考える際に知っておきたい基礎知識や、もしもの時の老い支度についてパネルでご紹介します。また、在宅介護に役立つパンフレットの配布や、書籍約100冊の展示も行います。

大切な人の介護や自分の老後について、考えてみてください。

展示期間 2012年10月29日(月)～12月22日(土)

展示会場 千代田図書館9階 展示ウォール

休館日 11月25日(第4日曜日)

お問合せ 千代田図書館 電話 5211-4289

主催 千代田区 高齢介護課、千代田図書館

関連イベント

1時間半で学ぶ 認知症の基礎知識

～認知症サポーター養成講座～

身近な人が認知症になったときに役に立つ基礎知識を、仕事帰りに学びませんか。

※詳しくは裏面をご覧ください

日時 2012年11月16日(金)18:30～20:00

講師 高山朱実(千代田区 高齢介護課相談係)

場所 千代田図書館9階 第1・2研修室

定員 18名(事前申込制、先着順)

関連イベント

1 時間半で学ぶ 認知症の基礎知識

～認知症サポーター養成講座～

認知症の人が記憶障害や認知障害から不安に陥った結果、まわりの人との関係が損なわれることがあります。しかし、身近な人の理解やちょっとした手助けがあれば、住み慣れた地域で穏やかに暮らしていくことができます。

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者のことです。

仕事帰りの 1 時間半で、身近な人が認知症になった時にも役に立つ認知症サポーターとしての知識を学びませんか。

日 時 2012 年 11 月 16 日 (金)
18:30～20:00 (18:00 開場)

講 師 高山朱実 (千代田区 高齢介護課相談係)

場 所 千代田図書館 9 階 第 1・2 研修室

定 員 18 名 (事前申込制、先着順)

参加費 無料

申込み **受付開始 10 月 29 日 (月)**
電話 (03-5211-4289・4290) または 10 階
カウンター (月～金 10:00～18:00
※土日祝日除く) 千代田図書館セミナー
受付担当まで

問合せ先 千代田図書館 電話 5211-4289・4290

講座プログラム
・DVD 上映 (15 分)
・講義 (60 分)
・質疑応答 (15 分)



受講者全員に「私は認知症の人を支援します」の目印となるオレンジリング(写真)をお渡します。

千代田図書館

所在地 千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 9・10F

電話番号 03-5211-4289・4290

開館時間 月～金 10:00～22:00、土 10:00～19:00
日・祝 10:00～17:00

休館日 第 4 日曜日

アクセス 東京メトロ東西線、半蔵門線
都営新宿線「九段下」駅下車
4 番または 6 番出口から徒歩 5 分

